

- I. 日 時： 令和 5 年 1 月 3 0 日（月） 17：30～19：30
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoom によるオンライン会議）
- II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員(すべてネット出席)
(事務局：井端事務局長、中村)

III. 検討内容

コロナ感染防止のため引き続き、ネットによる委員会として開催した。

1. 2022 年度機関誌 No. 4（3月号）の企画について

① 巻頭言は、流通科学大学に依頼することにした。

② 特集は、「学修者本位の教育の実現、学びの質の向上を目指した大学教育の DX 構想（その 3）」として、文部科学省が「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択した 54 事業の中から（その 1）（その 2）に続き、大学教育の DX 推進を計画し実現に向けて着実に行動を開始した大学等の取組みを掲載することにした。掲載依頼原稿は、以下とし、依頼先の承諾を得て掲載することを確認した。

- ・「DX で拓く学びのパラダイムシフト ～ニューノーマルの新たな教育実現に向けた『バーチャルクラスルームデジタルラーニング(VCDL)』環境の構築～」(仮題)
広島大学 情報メディア教育研究センター 教授 西村浩二 氏
- ・「デジタル化ブレンド型教育による課題設定・解決型人材育成」(仮題)
神戸大学
- ・「九州大学『教育 DX』推進事業 ～LA 活用による学習者本位の教育の実現～」
九州大学
- ・「学びのソムリエ AI ～教育データの集積と有効活用による学生個々の学び支援～」
山梨大学
- ・「KUIS DX Experience ～デジタル・パートナー・プラットフォームの構築～」
神田外語大学
- ・「『仲間とともに個性を伸ばす』全学 DX プログラム」
日本経済大学
- ・「統合的学習・教育支援プラットフォームを核とした自律的学習者支援と教育高度化支援」
大阪府立大学
- ・「総合的学習支援（Quality of College Life）の充実を達成する LMS-e ポートフォリオビルディングシステムの構築」
鳥取大学
- ・「ブレンディッド・ラーニングの推進と多面的評価による自律的学修者の育成～LMS と連携した e-ポートフォリオの活用を通じて～」
宇都宮大学
- ・「学修成果物の機械学習を利用した横断的分析による概念把握アセスメントの高度化」
東日本国際大学
- ・「学修活動分析を利用した教育高度化のためのデジタル活用仮想基盤整備」
九州工業大学

③ 「数理・データサイエンス・AI 教育の紹介」として、2022 年度 No.1 と No.2 では令和 3 年度に文科省が「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定した大学の中から、「先導的で独自の工夫・特色を有するもの」として「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に選定した 10 大学の取組みを紹介したが、令和 4 年度新たに選定を受けた 6 大学における取組みを「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」選定校における教育実践取組みの紹介(その 4)」として以下依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・和歌山大学：
データサイエンスへの誘い
- ・宮崎大学：
宮崎大学 データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシー)
- ・大正大学：
データサイエンス

- ④「海外ニュース」は、米国の教育機関「EDUCAUSE」の記事から選出した「Digital Transformation in Higher Education 7 Areas for Enhancing Digital Learning」について「EDUCAUSE」の許諾のもと、翻訳分科会にて翻訳と監訳を行い掲載することにした。
- ⑤「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。
- ・令和5年度行事日程・加盟校の特典
- ⑥「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。
- ・シンガポールの大学等でのデータサイエンス教育関連について、主な取組みのレビュー
 - ・令和3年度 私立大学情報化投資額調査の集計結果
 - ・令和4年度事業活動報告交流会 実施報告
 - ・2022年度 大学職員情報化研究講習会開催報告
- ⑦「募集」は、以下を掲載することを確認した。
- ・2023年度 ICT 利用による教育改善研究発表会 発表募集の案内
 - ・2023年度私情協 教育イノベーション大会 発表募集の案内
 - ・教育事例等コンテンツオンデマンド配信案内
- ⑧「賛助会員だより」は、以下を掲載することを確認した。
- ・日本システム技術（株）

2. その他（次回の日程について）

今回は2022年度No.4（3月号）の原稿の確認を中心に検討することとし、開催日時は、3月13日（月）17時より、引き続きネット（ZOOM会議）にて開催することとした。